

ロシア（極東）

投資の減少が続く

極東における固定資本投資は、2012年、13年と2年連続で二桁の減少となった。2013年は、ロシア全体で投資が停滞したが、極東では特に落ち込みが大きかった。

極東内部の状況を見てみると、地理的には、2012年はまだら模様であったが、2013年はマガダン州を除く全ての連邦構成主体で減少を記録した。また、財源別の投資額を連邦統計局のデータを基に試算¹してみると、自己資金および財政資金はそれぞれ数%程度増加、それ以外の資金（主に借入等による資金）が3分の2程度にまで激減したものと見られる。

漂流する極東地域の発展プログラム

2013年3月に、2025年までを対象期間とする国家プログラム「極東及びバイカル地域の社会・経済発展」が策定された。その時点では抜け落ちていた連邦特定目的プログラム「2018年までの極東及びバイカル地域の経済及び社会の発展」（以下、極東バイカル連邦プログラム）も2013年12月に取りまとめられ、2010年ころから続いていた極東地域の発展プログラムの改訂作業がようやく完了したかに思われた。

ところが、その筆も乾かぬうちから、再び変更作業が行われている。その第1弾は、国家プログラムの大幅な縮小である。1年前に策定されたプログラムは、2,000ページを超える大部で、2つの連邦特定目的プログラムと12のサブプログラムから構成されていた。これに対し、2014年4月15日付け政府決定第308号では、このプログラムを廃止し、代わりに1つのサブプログラムと2つの連邦特定目的プログラムからなる新たな国家プログラムを承認した。連邦特定目的プログラムは、従来通りの極東バイカル連邦プログラムと「2007～2015年のクリル諸島（サハリン州）の社会経済発展」である。これら以外に、「国家プログラムの実施及びその他の領土の均衡ある発展にかかる措置」がサブプログラムとしてまとめられている。

この変更によって、事業費は大幅に減少した。旧プログラムでは、2014年～25年の間の総事業額を10.7兆ルーブル

（1ルーブル＝約2.9円として約31兆円。以下換算省略。）と見込み、このうち連邦政府の支出を3.8兆ルーブルと規定していた。これに対して、新プログラムでは、2014年～20年の連邦政府支出を3,462億ルーブルと規定している。仮に、2025年まで同じペースで連邦政府の支出が続いたとしても約6,000億ルーブルにしかならず、旧プログラムの6分の1以下である。

内訳をみると、極東バイカル連邦プログラムの枠内での連邦支出が3,376億ルーブルで、全体の98%を占めている。この金額には、同プログラムを2020年まで延長した場合に支出が見込まれる金額、1,295億ルーブルを含んでいる。サブプログラム分の支出は、48億ルーブルしか計上されていない。このようにみると、新たに策定された国家プログラムの実質的存在意義は、極東バイカル連邦プログラムの期間延長を現時点で予定しておくということだけのように思える。筆者は、旧国家プログラムについて「執行の段階ではころびが生じる」懸念を指摘した²が、現実には執行段階以前にプログラム自体が事実上撤回されたに等しい。

新国家プログラムの中核たる極東バイカル連邦プログラムの変更作業も進行中だ。交通インフラ整備に関する部分を、運輸関連のプログラムに移管し、代わりに官民連携による産業プロジェクトを導入することが検討されている³。具体的なプロジェクトとしては、ロスネフチがナホトカで進めている石油化学工場建設や、極東各地での鉱山開発プロジェクトなどが候補となっている。

筆者は、現行プログラムが鉄道を中心とした交通インフラ整備に特化したびつな構成になっていると考えており、その是正が図られることは有意義だと評価したい。他方、政府が公表したプログラムが半年も立たぬうちに全く違う内容に変更されるといった事態は、政策の予見性という観点で大きな問題がある。今の流れでは、近く極東バイカル連邦プログラムが改訂され、そのことは自動的に4月に全面改訂されたばかりの国家プログラムも改訂されることを意味する。極東の発展に関する政府プログラムは、落ち着き先を見つけれないまま漂流を続けていると言わざるをえない。

（ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史）

¹ 大規模企業についての財源構成比率データが公表されているので、これを投資総額に乗じることにより、近似的に財源別投資額を得ることができる。

² ERINA REPORT No.112の本項参照。

³ 2014年4月25日、「極東の社会・経済発展に関する政府委員会」<http://government.ru/news/12006>

鉱工業生産高成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	6.3	6.8	0.6	▲ 9.3	8.2	4.7	2.6	0.3	0.0	0.1	0.1
極東連邦管区	4.2	35.1	▲ 0.2	7.6	6.5	8.8	3.1	3.0	▲ 1.9	1.8	3.0
サハ共和国	0.0	0.5	4.2	▲ 13.6	17.6	11.4	6.6	4.2	1.2	5.2	4.5
カムチャッカ地方	1.6	0.6	0.9	▲ 0.2	8.6	20.1	8.9	3.0	1.1	2.0	1.7
沿海地方	12.6	2.1	14.6	▲ 2.7	13.6	19.6	12.2	5.2	2.0	10.2	11.6
ハバロフスク地方	▲ 10.7	10.1	▲ 7.4	▲ 6.8	21.3	15.8	11.2	1.7	▲ 0.1	2.7	4.7
アムール州	4.7	2.6	11.4	11.4	0.1	25.6	9.0	10.4	21.0	16.1	11.5
マガダン州	▲ 11.2	▲ 9.0	2.1	5.8	3.3	7.7	7.4	3.6	10.9	5.8	5.3
サハリン州	31.1	2.3倍	▲ 9.2	26.6	0.0	2.9	▲ 4.1	0.4	▲ 7.4	▲ 3.2	▲ 1.5
ユダヤ自治州	4.2	22.7	18.6	▲ 18.8	2.3	4.1	2.0	▲ 4.2	5.6	▲ 1.9	▲ 1.6
チュコト自治管区	▲ 9.1	▲ 2.3	77.4	16.3	▲ 9.7	▲ 6.5	▲ 1.7	18.0	▲ 3.7	▲ 1.8	5.4

(出所) 『ロシア統計年鑑（2012年版、2013年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年3、6、9、12月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

固定資本投資成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	16.7	22.7	9.9	▲ 15.7	6.3	10.8	6.6	▲ 0.2	0.1	▲ 1.4	▲ 1.4
極東連邦管区	2.3	18.9	11.7	7.1	6.1	26.5	▲ 14.8	▲ 19.5	▲ 21.5	▲ 20.9	▲ 27.1
サハ共和国	2.1	92.2	14.0	9.4	▲ 36.2	36.9	10.2	▲ 10.4	▲ 26.0	▲ 13.9	▲ 23.7
カムチャッカ地方	5.2	33.5	5.4	27.7	18.7	▲ 4.0	5.8	▲ 10.0	▲ 59.2	▲ 44.2	▲ 1.7
沿海地方	6.4	20.6	41.5	74.3	21.3	34.1	▲ 41.0	▲ 45.2	▲ 50.6	▲ 51.1	▲ 53.8
ハバロフスク地方	8.7	22.9	9.9	8.1	52.2	7.8	▲ 11.3	▲ 26.2	▲ 8.2	▲ 18.0	▲ 27.5
アムール州	5.1	38.9	24.1	▲ 11.4	19.5	31.3	▲ 20.0	▲ 2.9	▲ 14.5	▲ 2.1	▲ 17.6
マガダン州	23.9	28.7	15.1	▲ 0.2	▲ 0.1	4.6	21.3	8.9	72.2	32.5	17.2
サハリン州	0.3	▲ 18.1	▲ 5.5	▲ 24.6	11.2	32.6	▲ 8.1	▲ 2.5	▲ 3.4	▲ 11.2	▲ 13.8
ユダヤ自治州	▲ 1.2	20.3	4.5	▲ 16.3	2.0倍	21.6	▲ 11.5	▲ 52.3	▲ 69.1	▲ 55.0	▲ 62.1
チュコト自治管区	▲ 38.6	1.6	29.5	61.9	▲ 66.1	70.3	51.6	▲ 44.3	15.4	23.0	▲ 19.6

(出所) 『ロシア統計年鑑（2012年版、2013年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2013年）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年4、7、10月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

小売販売額成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	14.1	16.1	13.7	▲ 5.1	6.5	7.1	6.3	3.9	3.9	3.7	3.8
極東連邦管区	12.9	11.2	10.6	0.7	3.7	5.3	4.8	4.9	4.2	4.5	5.0
サハ共和国	8.6	7.4	7.6	2.1	3.6	2.7	2.6	4.5	0.9	2.4	3.0
カムチャッカ地方	10.8	12.8	9.4	1.6	3.1	5.0	2.6	0.1	0.4	0.2	0.2
沿海地方	12.9	11.8	9.9	▲ 2.3	2.2	3.5	4.4	8.3	5.6	7.3	8.9
ハバロフスク地方	13.3	15.3	7.9	3.6	6.2	6.4	4.9	4.3	5.9	5.8	5.1
アムール州	13.7	12.0	12.8	▲ 2.5	6.0	18.7	14.3	5.4	7.2	5.7	4.6
マガダン州	9.6	10.0	3.1	▲ 0.3	4.4	5.5	6.3	6.2	9.3	8.9	7.4
サハリン州	22.1	7.9	20.0	2.5	1.3	2.2	1.4	2.1	0.7	▲ 0.3	2.7
ユダヤ自治州	5.4	6.1	8.1	1.9	2.7	▲ 5.8	4.2	▲ 0.9	2.3	0.6	0.1
チュコト自治管区	6.4	12.9	55.9	3.2	8.2	1.6	▲ 8.6	▲ 9.6	▲ 5.0	▲ 8.2	▲ 8.1

(出所) 『ロシア統計年鑑（2012年版、2013年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年3、6、9、12月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

消費者物価上昇率（前年12月比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	6.1	6.6	6.5	1.9	3.5	4.7
極東連邦管区	8.8	9.6	13.6	9.7	7.7	6.8	5.9	6.6	1.9	3.4	5.1
サハ共和国	11.9	9.0	12.5	8.2	6.0	7.0	5.4	6.0	1.6	3.0	4.8
カムチャッカ地方	11.6	10.1	14.8	10.7	10.2	5.8	5.6	6.3	1.0	2.5	5.1
沿海地方	7.1	9.7	13.5	9.5	7.0	5.6	6.0	6.3	2.1	3.4	4.8
ハバロフスク地方	8.7	9.8	14.1	9.5	8.1	7.9	5.4	6.3	1.9	3.5	4.9
アムール州	9.1	9.6	14.1	9.6	9.4	7.6	7.2	7.7	1.8	3.7	5.7
マガダン州	8.1	13.3	19.3	13.4	8.5	9.2	8.7	9.0	2.8	4.3	7.4
サハリン州	10.4	11.8	13.1	10.7	10.0	6.4	6.0	6.5	1.8	4.0	4.7
ユダヤ自治州	5.5	11.7	15.0	12.2	9.5	8.9	6.5	8.5	2.5	4.1	6.6
チュコト自治管区	11.2	7.5	9.9	17.2	1.4	5.4	6.0	5.2	2.8	2.9	3.9

(出所) 『ロシア統計年鑑（各年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年3、6、9、12月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

実質貨幣所得成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	14.1	13.1	3.8	1.8	5.4	1.2	5.8	3.7	5.0	5.2	4.2
極東連邦管区	12.1	10.6	3.4	4.0	3.5	1.5	4.9	4.7	6.1	5.7	4.9
サハ共和国	6.1	5.1	8.6	1.7	2.9	3.4	5.9	2.6	2.9	1.1	1.9
カムチャッカ地方	7.1	8.8	4.9	3.9	3.2	▲ 0.8	3.6	0.6	4.4	4.9	1.6
沿海地方	15.0	10.6	4.0	6.5	5.5	2.9	5.1	5.9	8.0	8.9	9.6
ハバロフスク地方	14.3	12.1	▲ 4.9	8.4	4.7	▲ 2.8	2.7	4.5	6.6	5.5	4.0
アムール州	10.3	19.6	11.5	▲ 5.5	0.4	12.9	13.3	2.6	4.0	3.6	0.3
マガダン州	9.1	6.8	1.0	2.5	3.8	▲ 2.0	10.5	6.2	2.0	7.2	0.2
サハリン州	14.1	12.4	6.8	▲ 0.6	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.3	12.7	11.9	8.5	9.4
ユダヤ自治州	8.3	5.5	12.0	4.7	3.5	▲ 3.2	2.2	▲ 0.1	0.6	1.5	▲ 1.1
チュコト自治管区	7.2	4.4	5.2	▲ 8.1	6.0	9.5	5.9	▲ 15.6	▲ 2.5	▲ 2.2	▲ 0.9

(出所) 『ロシア統計年鑑（2010年版、2012年版、2013年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年4、7、10月；2014年1月）』（ロシア連邦国家統計庁）。*斜体：速報値

平均月額名目賃金（ルーブル）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	10,634	13,593	17,290	18,638	20,952	23,369	26,629	29,960	28,788	27,339	29,044
極東連邦管区	13,711	16,713	20,778	23,158	25,814	29,320	33,584	37,357	35,608	33,876	35,643
サハ共和国	16,168	19,409	23,816	26,533	28,708	34,052	39,916	46,162	43,411	39,825	42,780
カムチャッカ地方	18,541	21,815	27,254	31,570	35,748	39,326	43,552	48,591	47,641	43,812	46,925
沿海地方	10,903	13,174	16,805	18,997	21,889	24,423	27,445	29,970	28,419	27,282	28,479
ハバロフスク地方	12,888	15,884	18,985	20,455	22,657	26,156	31,076	33,819	32,095	30,707	32,393
アムール州	11,111	13,534	16,665	19,019	21,208	24,202	26,789	29,895	28,797	28,037	28,875
マガダン州	17,747	22,102	28,030	32,657	36,582	41,934	49,667	57,101	55,374	52,797	54,848
サハリン州	18,842	23,346	30,060	32,626	35,848	38,771	44,208	48,438	46,509	45,792	47,269
ユダヤ自治州	9,529	11,969	15,038	16,890	19,718	22,928	25,067	27,154	26,117	24,869	26,160
チュコト自治管区	25,703	30,859	38,317	42,534	46,866	53,369	60,807	70,191	67,783	65,035	67,786

(出所) 『ロシア統計年鑑（2010年版、2012年版、2013年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年4、7、10月；2014年1月）』（ロシア連邦国家統計庁）。